

HULFT

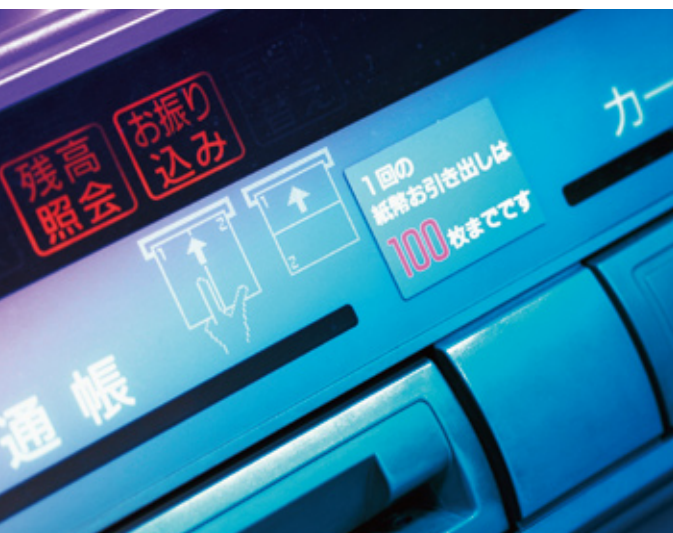
CASE STUDY

HDC-EDI Suite

株式会社山口銀行



地銀共同化システムとのゲートウェイシステムに HDC-EDI Suiteを導入 統合的なデータの集配信基盤で運用の効率化を実現



地銀共同化システムとのゲートウェイシステムに HDC-EDI Suiteを導入 統合的なデータの集配信基盤で運用の効率化を実現

山口銀行は、地銀共同化システム(基幹システム)と自行内業務システムをつなぐ統合ゲートウェイとしてHDC-EDI Suiteを導入した。それまでは、約25ある各業務システム間のデータ連携プロトコルに、独自形式やFTP、HULFTなどが混在しており、データ連携運用が複雑化していた。HDC-EDI Suiteの導入によって、地銀共同化システムと自行内業務システムとのデータ連携はもちろんのこと、各業務システム間のデータ連携についてもプロトコルの違いを意識しない一元的な運用管理が可能となった。HDC-EDI Suiteの導入が、データ連携に伴う運用の効率化に大きく貢献している。



株式会社山口銀行
システム部
基盤開発グループ
副調査役

来島 友治氏



株式会社山口銀行
システム部
基盤開発グループ

黒木 啓氏

User Profile



株式会社山口銀行

本社
山口県下関市竹崎町4丁目2番36号

創業
明治11年11月25日

創立
昭和19年3月31日

資本金
100億円

事業内容
山口県・広島県・北九州エリアを中心とした地域密着型の金融サービスを展開。「経営コンサルティング機能を充実させた取引先支援の強化」「取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備」「地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供」に尽力する。また中国と韓国に3支店・1駐在員事務所を開設し、海外展開にも積極的に取り組む。

「地域やお客様に夢と未来をご提供する金融機関になること」をスローガンに、山口県・広島県・北九州エリアを中心に山口銀行は地域密着型の金融事業を展開する。そして、グループのすみじ銀行を含めた山口フィナンシャルグループ (YMFPG) では「YMFPG 地域密着型金融推進計画の基本方針」を策定し、地域・お客様・YMFPG が共存共栄していくためのリレーションづくりを積極的に推進している。

一方、昨今は規制緩和による取扱商品の高度化・多様化、メガバンクの地方進出などを受け、地方銀行を取り巻く経営環境は厳しさを増す。その中でさらなる成長を目指すには、経営の効率化が必須。そこで同行では2007年にIT戦略基盤の強化、経営資源の効率的活用を目指し、「地銀共同化システム」への参画を決定した。

地銀共同化システムは、三菱東京UFJ銀行の現行システムをベースに、参加金融機関の共通ニーズと個別ニーズを反映させた基幹システム。基幹共同化センターに置かれたこのシステムを参加銀行が共用することで、各行は先進的な基幹システムを活用でき、高いIT対応力を確保できるようになる。

統合管理を可能にするデータの 集配信基盤にHDC-EDI Suiteを導入

地銀共同化システムへのデータ伝送は原則としてHULFTの利用が前提だったという。金融機関におけるデータ連携ツールとして、HULFTがデファクトスタンダードとなっているためだ。「すでに当行では業務システム間のデータ連携ツールとしてHULFTの利用実績があり、その有効性は高く評価していました。けれども、業務パッケージの中にはFTP連携しか対応していないものもあり、すべてのデータ連携基盤をHULFTへ移行するのは困難な状況でした」と山口銀行の来島友治氏は当時を振り返る。

こうした課題を解消するため、同行が採用したのが、セゾン情報システムズが提供しているEDIソリューションパッケージのHDC-EDI Suiteである。HDC-EDI SuiteはEDI連携基盤のHDC-EDI BaseとHULFTを連携させ、それらを一元管理するHDC-EDI Managerを組み合わせたスイート製品。様々なプロトコルをカバーしたシームレスなシステム間連携を可能にする、企業間データ連携ソリューションである。

「当初は自社開発によるゲートウェイ方式も検討しましたが、システム開発に伴う時間とコストが増大してしまいました。地銀共同化システムの本格稼働までの期限も迫っていたため、最適なコストと限られた期間内で完成度の高いデータ連携基盤を構築するには、実績が豊富な HDC-EDI Suite が有効と判断したのです」と来島氏は選定のポイントを語る。同行は2008年12月に HDC-EDI Suite の導入を正式決定。2009年3月にはすべてのシステム間連携を完了し、予定通り2010年5月に地銀共同化システムの本格稼働を実現した。

異なるプロトコルを統合制御し データ集配信の作業負担を軽減

導入メリットとして、まず挙げられるのが運用の効率化である。「従来は各業務システム担当者がデータ転送の登録作業を担当していましたが、行内で扱うファイル数は月約5000、転送定義は約600種類にもおよび、作業が煩雑化していました」と山口銀行の黒木啓氏は当時の課題を述べる。

しかし、現在は HDC-EDI Suite がゲートウェイとなり、各業務システムと地銀共同化システムとのデータ集配信を統合管理する仕組み。「以前は業務システムごとに転送手順が異なり、そのやり方を覚えるだけでも大変でしたが、今は HDC-EDI Suite 上で管理できるので、データ連携の一元管理が可能となりました。文字コード変換などプロトコルの違いを意識することもなく、効率的なデータ連携を実現しています」と黒木氏はそのメリットを語る。

しかも、HDC-EDI Suite はブラウ

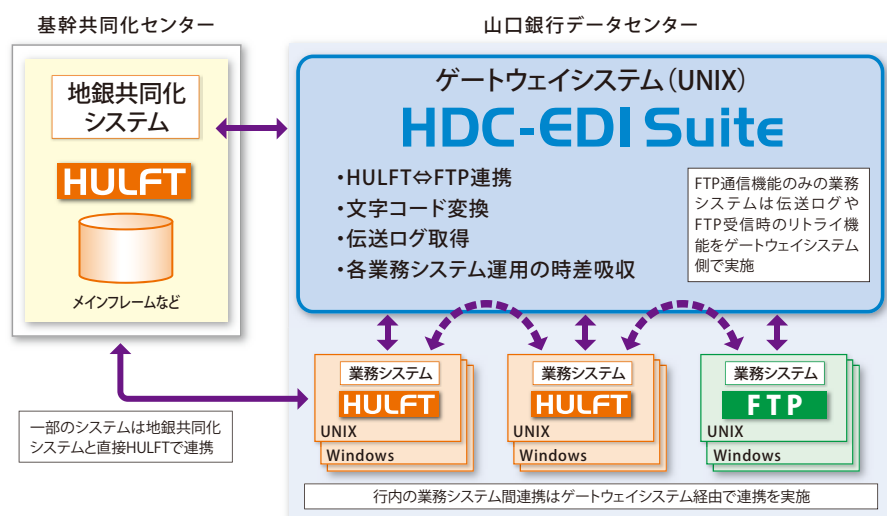


図 HDC-EDI Suiteをベースとしたゲートウェイシステムの構成イメージ

山口銀行では、HDC-EDI Suiteを介して各業務システム間と地銀共同化システム間をシームレスにデータ連携している

ザベースの GUI 画面による管理が可能。「煩雑なコマンドラインを利用することなく、直感的な操作で転送ファイルの登録・実行を行えます」（黒木氏）。現在は、黒木氏を含むシステム部内の2名の担当者が各システムのデータ集配信を統合管理する。来島氏は「各業務システム担当者のデータ集配信に伴う作業負担も大幅に軽減されています」と評価する。

転送エラー時の自動再送を実行 ログ管理の徹底で内部統制も強化

システムの安全性・信頼性も向上している。「例えば、重要なデータには暗号化を施し、大容量データは圧縮して転送を実施しています。そうすることで情報セキュリティが強化され、パフォーマンスの低下も回避できます」（黒木氏）。

従来は転送エラーがあれば、エラー検出後に個々の業務システム担当者が再送手順を実行しなければならなかった。「エラーが発生した場合は、ゲートウェイの HDC-EDI Suite から再送が可能です。業務システム担当者の手を煩わせることなく、安全・確実なファイル転送を実現できます。しかも、HULFT は実行処理ごとに送達確認が

できるので安心です」と黒木氏はそのメリットを強調する。

また、同行では各業務システムのアクセスログの分析を実施しているが、各業務システムで発生したログは HDC-EDI Suite を経由して分析システムへ伝送されており、情報セキュリティと内部統制の強化にも HDC-EDI Suite を活用している。

今後は金融サービスの多様化に伴い、さらなるシステムの拡充が求められる。その時も、多様なシステム間連携を統合管理するゲートウェイとして、HDC-EDI Suite は重要な役割を果たすに違いない。

ミッションクリティカルな銀行業務を HDC-EDI Suite で支える統合的なデータ集配信基盤を確立した同行では、そのメリットを活かし、これから地域密着型の金融機関としてお客様の事業を積極的に支援。地域のさらなる発展に貢献していく構えだ。

お問合せ先

株式会社 セゾン情報システムズ

HULFTフリーダイヤル ☎ 0120-80-8620

※利用時間 9:15～17:45（土・日・祝日および年末年始を除く）
E-mail : hulft@season.co.jp



- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。



【お問合せ先】
株式会社 セゾン情報システムズ
HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620
※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT営業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

関西事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勸博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL **http://www.hulft.com/** e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2011年2月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。